

蓮の風

松岡隆子

朝涼やきれいな声で鳥鳴いて
水無月の水ひかりては流れゆく
睡蓮の己が白さに翳りたる
睡蓮の白きに心置いてきし
飛ぶものの影のけぶらふ半夏生
炎昼の影濃きものに身を寄する
薄暮とは片白草の辺りより

人思ふ日の草笛は湖へ吹く
遠き日のとほき人ごゑ蓮の風
これよりの夜の深さの水中花
短夜の何処を眠つてゐたのやら
明易の夢に続きのありとせば

7月に入つてコロナウィルスの感染者数が急増し始め、月半ばには東京の一日の感染者は一万五千を超える数となった。急遽16日の本部例会は休会とした。よくぞ記念祝賀会が出来たものと記念号を手にして感慨を新たにしている。祝賀会が終わったら先生の墓前にご報告に行くはずだったのに約束を果たせていない。ご命日までには記念号を供えに行こうと思う。